

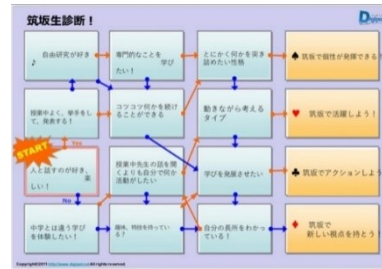
筑坂魅力化プロジェクト 活動報告書

イベント企画チーム

筑坂魅力化プロジェクトのイベントチームでは、ICT を使って中学生と交流できるイベントを開催しました。そこでは、インスタグラムのライブ機能を使って誰でも気軽に参加できるような形で開催しました。また iPad やポケット Wi-Fi などを使い、同じ筑坂魅力化プロジェクトの広報チームと連結してイベントを行ないました。

I. 筑坂適性診断

筑坂に興味のない中学生はインスタライブに来てくれないと考えたので、興味のある中学生にイベントの存在を知ってもらう、また筑坂にさらに入りたいと思ってもらえるように筑坂適性診断というものを作りました。



目的	筑坂に興味があっても何をしたいかわからない中学生に向けて自分のやりたいことをイメージできるようにするため
方法	選択肢の先を何個にするか、選択肢の記号をABCにするのか123にするのか、筑坂に興味がない人でも興味を持ってもらえるような項目が作れるかの準備
効果	視聴者の学びや自分の関心を見つめなおすきっかけを作れた

II. 模擬部活動体験

先生目線ではなく生徒目線からの筑坂を中学生に伝えるべく、部活動の披露の場が少なくなってしまう部活動をメインに活動の概要をお聞きしました。またインタビューだけでなく披露などをしてもらって具体的な活動内容をお見せしました。



目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で体育祭や文化祭等の学校行事が中止になり、数多くの生徒の活躍の場が失われてしまった。そのため、筑坂の部活動が活躍できる機会を設けたかったから ・コロナ感染拡大防止のためオンラインでできるイベントを行うため ・文化祭がなくなってしまう活動が少なくなってしまった運動部に披露してもらうため
方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・各部活動の魅力部員から聞き出しておいた ⇒質問内容の整理し各部活動へ確認に行った ・撮影の許可、撮影する場所の確認を行なった ・Wi-Fi を契約し、校内のどこで行われる活動でも取材できるようにした
効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動での先輩後輩同士の雰囲気の良いを視聴者へ発信できた ・部活動の様子を動画の公開やインタビューを通して視聴者へ発信できた ・リアルな筑坂生の声を校外へ発信することができた

III. 先生インタビュー

進路に悩んでいる中学生を手助けするため、またこのインタビューが学校を決める際の参考となればと思い行なった。



目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・筑坂は総合学科であり、普通科と比べて異なる点が多い。そのため、筑坂での学びの様子について各科目群に詳しい先生がたから授業の内容や生徒の様子を聞き出すことで、中学生が想像できない高校の授業というものをイメージできるようにする ・オンラインで気軽に質問しやすい環境を作るため ・筑坂の科目群を紹介するため
方 法	先生にインタビューする内容を事前にチームに分かれて確認して、撮影前に先生に確認をとること
効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目群の授業の概要や、中学と違った高校の先生を伝えられた ・中学生が想像できない「高校の授業」というものを伝えられた